

## 2023 年度第 2 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録

日時	2023 年 6 月 10 日 (土) 9:30~11:50		
場所	さいたま市民会館おおみや 集会室 8		
役員 (敬称略)	出席者(五十音順 □出席、◇欠席、) 総数: 25 名(内出席: 21 名、委任状提出者: 3 名) □石田正雄 □出森公人 □黒澤兵夫 □小柳直昭 □近藤訓 □近藤孝 □佐藤佳則 □穴戸富雄 □白岩信裕 □菅原宏 ◇高橋正人 □中田よしみ □埜本信一 □浜端英男 □速川敦彦 □平松達生 □藤田賢二 □増古恒夫 □松本良一 □村山肇 ◇森永清 ◇山田敏広 □横山正巳 ◇若井一顕 □若林直樹		
配布 資料	資料 1	2023 年度第 1 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録	1~ 3
	資料 2	審議事項 1 委員会委員の異動の件	4
	資料 3	審議事項 2 埼玉県支部の緊急事態対策規定の件	5~7
	資料 4	2022 年度 5 月次会計収支について	8、9
	資料 5	2022 年度(公社)日本技術士会埼玉県支部収支(5 月次)	10
	資料 6	総務企画委員会の活動報告	11、12
	資料 7	CPD 委員会報告	13
	資料 8	科学技術振興委員会報告	14
	資料 9	地域産業支援委員会活動報告	15
	資料 10	(2023 年 5 月度)地域活性化委員会報告	16

### 議題

- (1) **出席者の確認** (白岩委員長)  
出席者の確認を行い、出席 24 名(内、委任による出席 3 名)、欠席 1 名であることを確認した。
- (2) **議事録署名人と議事録作成者の確認** (白岩委員長)  
議事録署名人を出森公人幹事、黒澤兵夫幹事とし、記録作成者を白岩信裕幹事とすることが承認された。
- (3) **前回議事録の確認【資料 1】** (白岩委員長)  
2023 年度第 1 回埼玉県支部役員会議事録はすでに役員間でメール審議、承認済みであり、支部 HP に掲載済みであることを確認した。
- (4) **支部長活動報告** (若林支部長)
  - ・埼玉県支部において平松達生幹事が日本技術士会会長表彰を受けられた。
  - ・4/14~18 神奈川県支部、千葉県支部、茨城県支部から「創立 10 周年記念誌」を受け取った。  
茨城県支部では 7/22 に創立 10 周年記念式典の開催が予定されている。
  - ・5/18 さいしんコラボ産学官総会に出席した。
- (5) **審議事項**
  - (5-1) 委員会委員の異動の件 【資料 2】 (増古委員長、近藤孝委員長)
    - ・CPD 委員会から、委員の異動(退会、新任)が提示され承認された。
    - ・地域産業支援委員会から、委員の異動(新任)が提示され承認された。
  - (5-2) 埼玉県支部の緊急事態対策規定の件 【資料 3】 (近藤孝副支部長)  
近藤孝副支部長より資料に基づき規定制定の目的、経緯と規定案について説明があった。質疑の結果、規定には緊急連絡体制(連絡網)は必要だが、緊急事態への対応等に関しては検討を要するとなり、次回役員会(8 月)までに規定案への幹事の意見集約とそれに基づく見直しを幹部が行う。
- (6) **支部月次会計、支部主催行事報告、委員会等活動報告**
  - (6-1) 2023 年 5 月次会計収支【資料 3、4】 (菅原幹事)  
資料に基づき説明があった。また 6/28 に Web による本部開催「インボイス制度説明会」の紹介があった。
  - (6-2) 委員会等活動報告【資料 6~10】
    - 1) 総務企画委員会 (白岩委員長)

- ・4月からの活動実績と今後の活動計画について説明があった。今後は6/17に新幹事のオリエンテーション、7/29に臨時役員会と年次大会を実施する。それらに関する新幹事、組織体制は、若林支部長から新旧役員へ7月に文書にて紹介する。
- ・県支部リーフレットは先月更新したが、記載内容に誤植があったため再更新する。広報グループの出森幹事より、次号広報誌の準備状況と支部紹介動画の制作概要の紹介があった。
- ・埼玉県支部は標準化パートナーシップ制度のパートナー機関に登録されている。このたび登録情報を更新し連絡窓口を地域産業支援委員会とした。
- ・協賛団体の支部行事への参加促進のため、年次大会開催案内と共に前年度の行事開催実績報告書を届け、支部活動を周知する。

## 2) CPD 委員会（増古委員長）

- ・CPD 行事の実績と計画の報告があった。その中で県内大学（埼玉大学、ものづくり大学、東洋大学）での技術士制度説明会の実績が示された。（地域産業支援委員会でも類似報告あり。）
- ・今年3月実施の支部会員対象のCPD 行事に関するアンケートは、行事参加促進には、関心を高める必要性のあることを示している。そこで関心を高める方法についてCPD ワーキンググループを立ち上げ、立案するよう図っている。

## 3) 科学技術振興委員会（中田委員長）

- ・7/23に川の水の安全と利用に関する理科教室を、越谷市で地域活性化委員会東部地域小委員会と一緒に開催する。
- ・8/6開催の女子中高生夏の学校2023の理科教室に参画する。
- ・11月ごろをめぐりにITリテラシーに関する講演会を開催する。

## 4) 地域産業支援委員会（近藤孝委員長）

- ・防災支援グループではリアリティーを持ってDIG（図上防災演習）に臨むことを目的に、演習前に「防災まち歩き」を行う。立正大学における実施日等を決めている。
- ・産官学連携活動（理研、VCAD システム研究会他）と企業支援活動（さいしんコラボ産学官の技術相談会のその後の対応）の報告があった。
- ・コーチング体験研修の準備状況の報告があった。
- ・外部からの業務依頼状況の報告があった。

## 5) 地域活性化委員会（若林委員長）

### ①北部地域小委員会（小柳小委員長）

- ・見学・講演会を9/7に日本キャタピラーD-テックセンターにて行う。
- ・商工連携活動として、埼玉農業大学校、熊谷商工会議所を訪問した。
- ・委員会開催状況と今後の活動計画の報告があった。

### ②西部地域小委員会（近藤訓小委員長）

- ・CPD 行事の計画として、講演会を地熱発電推進の会社へ要請し、見学会を光学ガラスメーカーへ交渉していると報告があった。
- ・11月に「かわごえ産業フェスタ」への参加を検討する。対外活動の本部への申請のため参加情報の入手をすすめる。

### ③東部地域小委員会（平松小委員長）

- ・ローカルエフエム局放送番組の支部防災支援活動の紹介は、3回目の放送を6/30に行う。番組出演者の松本幹事は月刊技術士10月号にて支部（防災グループ）の防災支援活動を紹介するが、その中において放送実績も述べる。
- ・商工連携活動としては越谷商工会議所の訪問が上げられる。

<b>次回 会議</b>	2023 年度第 3 回日本技術士会埼玉県支部役員会（臨時役員会） 日時：2023 年 7 月 29 日（土）10：00～11：30 場所：新都心ビジネス交流プラザ B 会議室
------------------	--